

令和元年度 厚生労働行政推進調査事業費補助金（慢性の痛み政策研究事業）  
分担研究報告書

慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

研究分担者 伊達 久 仙台ペインクリニック 院長

研究要旨

慢性疼痛診療ガイドラインを作成し、慢性疼痛治療に関わる多くの医療者に最新のエビデンスを提供する。また、慢性疼痛診療ガイドライン作成にとどまらず、その効果や影響を検討することにより、次期の改訂にも貢献できると考えられる。

**A．研究目的**

慢性疼痛診療ガイドラインの作成を行う。前回の慢性疼痛治療ガイドラインの内容に最新のエビデンスを加えることにより、慢性疼痛治療に関わる医療者により有用な情報を提供する。

**B．研究方法**

厚生労働省の診療ガイドライン作成の標準形式である医療評価機構 EBM 普及推進事業（Minds）によるガイドライン作成方法の学習会を数回開催。

慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる全体会で内容の検討。（倫理面への配慮）

慢性疼痛患者代表の意見を取り入れ、患者に配慮する表現で記載をすることとした。

**C．研究結果**

厚生労働省の診療ガイドライン作成の標準形式である医療評価機構 EBM 普及推進事業（Minds）によるガイドライン作成方法を慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーおよび執筆に携わる協力者を対象に学習した。

また、慢性疼痛診療ガイドラインの内容について慢性疼痛診療ガイドライン作成ワーキンググループメンバーによる全体会でクリニカルクエスションの決定などを行った。また、担当者を決定した。

**D．考察**

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」による作成方法の理解が十分に行き渡らないこともあったので、追加の講習なども

企画した。

**E．結論**

「Minds 診療ガイドライン作成マニュアル 2017」に準拠した慢性疼痛診療ガイドラインを作成することとした。

**F．健康危険情報**

総括研究報告書にまとめて記載

**G．研究発表**

1. 論文発表

- ・【疼痛治療のレシピ】慢性疼痛治療ガイドライン（臨牀と研究 97 巻 2 号 Page138-143 2020）
- ・慢性疼痛治療ガイドラインのポイントについて（日本薬剤師会雑誌 71 巻 2 号 Page171-175 2019）
- ・【慢性疼痛 update- 実地診療に役立つ最新知見 -】慢性疼痛治療ガイドライン（日本臨床 77 巻 12 号 Page1917-1922 2019）
- ・慢性疼痛治療ガイドラインを大観するわが国の慢性疼痛リハを考える（Modern Physician 39 巻 6 号 Page543-545 2019）
- ・【ガイドライン ココだけおさえる】慢性疼痛治療ガイドライン（日本医事新報 4963 号 Page34-37 2019）

・『慢性疼痛治療ガイドライン』薬物療法」  
のポイント（クリニシアン 66 巻 1 号  
Page116-121 2019)

## 2.学会発表

- ・慢性疼痛の薬物療法-慢性疼痛治療ガイドラインの理解と応用- 慢性疼痛治療ガイドラインのエビデンスレベル（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛の薬物療法-慢性疼痛治療ガイドラインの理解と応用- エビデンスレベルは低いが、経験的・発見的に使用すべき薬剤の提唱 報酬系と前頭前野を介する薬物療法（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛の薬物療法-慢性疼痛治療ガイドラインの理解と応用- ガイドラインに準拠した薬物療法の現状（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛の薬物療法-慢性疼痛治療ガイドラインの理解と応用- インターベンショナル治療や心理的アプローチと薬物療法との関係（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛治療ガイドライン 2018 その解釈と臨床での実践（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛治療ガイドライン インターベンショナル治療を中心に（日本ペインクリニック学会第53回大会）
- ・慢性疼痛治療ガイドラインからみた運動器疾患の薬物療法（第2回日本リハビリテーション医学会秋季大会）
- ・ガイドラインからみた慢性疼痛治療（第92回日本整形外科学会学術総会）
- ・慢性疼痛治療ガイドラインを紐解けば（第59回関東整形災害外科学会）

## H .知的財産権の出願・登録状況(予定を含む)

- 1.特許取得  
特になし
- 2.実用新案登録  
特になし
- 3.その他  
特になし